

友の会の会員がめぐりあいの喜びや作品に寄せる思いを伝えるため、年に一度、所有する作品を持ち寄って展示する梅野記念絵画館恒例の展覧会です。

私の 第22回
愛する
一点展

www.umenokinen.com

2023年6月24日[土]~8月27日[日]
東御市梅野記念絵画館

私の愛する 一点展

第22回

2023年6月24日[土]～8月27日[日]

休館日＝月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

会場＝東御市梅野記念絵画館 大展示室

入館料＝一般300円

(団体割引 250円／障がい者割引 100円)

※団体割引は15名様以上から ※障がい者割引はご同伴者1名様も同額です

第22回「私の愛する一点展」に寄せて

本年も「私の愛する一点展」(第22回)を皆様方と迎えられることは幸せであります。鑑賞者の作品を観る眼が殆ど、有名か売れるか高額か、などといった単純な尺度しか持ち合わせないのが現状です。これで果たして健全といえるのでしょうか。梅野隆初代館長は生涯、己の美的尺度を持つことが大切と訴え、どれだけ忘却の彼方から作家を復活させたことでしょうか！一点展開催の意義は館長一人の意志を会員全体の意志に拡めたことにあります。結果、その会員の意志が日本全体の意志に変わることは、豊かな美術世界創設に資することと思われまふ。今年も皆様方の拘りの逸品(一点)を期待いたします。

梅野記念絵画館 友の会会長 御子柴大三

ごあいさつ

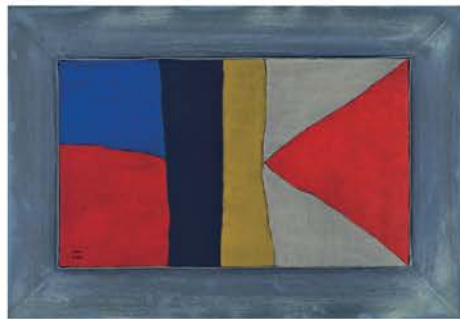
昨年のあいさつに、「来年の第22回展を見るときにはもうとっくに戦争が終わっていることを願って」と書きましたが、まだ海外で戦争が続いています。

こうして今年も会員の皆さんが愛する一点を持ち寄り展覧会が開催できることは、本当に幸せなことだと思うとともに、ウクライナにもそうした平和な時が訪れるよう祈っています。

絵は、高額な絵だからいい絵なのではありません。この展覧会では、絵を愛する皆さんが手元に置きたくなくなった絵が展示されています。出品者がその絵のどこに魅せられたのか。絵とその背後にいる持ち主の思いを感じながら見ていただければと思います。

東御市梅野記念絵画館 館長 大竹永明

美は到るところにあり、
ただ見ようとしをいだけり
見とるにだけりだ
大竹永明 後



東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園 TEL:0268-61-6161 FAX:0268-61-6162

■ 鉄道等の場合

しなの鉄道・田中駅からタクシーで15分

■ お車の場合

上信越道・東部湯の丸ICから約20分

Google Map▶



www.umenokinen.com

